

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17027
課題名	閉塞性動脈硬化症患者の下肢バイパス術に対する区域麻酔管理の有用性：傾向スコア解析を用いた後方視的検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2017 年 6 月 30 日
研究の対象	2010年1月～2016年3月に当院で下肢の閉塞性動脈硬化症に対してバイパス術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、治療歴、麻酔記録、術後の合併症等の発生状況、カルテ番号 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>閉塞性動脈硬化症の患者さんの下肢動脈バイパス手術の麻酔には、全身麻酔と局所麻酔があります。閉塞性動脈硬化症の患者さんは、もともと心臓や腎臓の機能が低下している場合が多く、どちらの麻酔方法も注意して行う必要がありますが、どちらの麻酔方法がバイパス手術を受ける患者さんにとって安全で効果が高いかは未だ分かっていません。</p> <p>この研究の目的は、当院で下肢の動脈バイパス手術を全身麻酔で行った患者さんと局所麻酔で行った患者さんの手術中の血圧などの状態と手術後の回復の状況を比較することで、どちらの麻酔方法が閉塞性動脈硬化症の下肢動脈バイパス手術を受ける患者さんにとって安全で効果が高いかを明らかにすることです。</p>
研究の方法	<p>患者さんの手術当日の麻酔記録から、手術中に使用した麻酔薬の種類と量、手術中の血圧、脈拍および呼吸状態などを調査します。</p> <p>また、患者さんの診療録から手術前の合併症(虚血性心疾患の有無、腎機能障害の有無など)の有無、内服薬の種類と手術後の血圧、呼吸状態、術後に生じた合併症の有無などを調査します。</p> <p>そして、全身麻酔で手術を受けた患者さんと、局所麻酔で手術を受けた患者さんで上記の項目を比較して、どちらの麻酔方法が患者さんにとって安全で効果の高い麻酔方法であったかを評価します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

	<p>研究責任者：旭川医科大学 麻酔科蘇生科 山口卓哉</p>
--	---------------------------------

連絡先：〒078-8510 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1

TEL：0166-68-2583